



BUNKA FASHION COLLEGE

SUMIRE KAI

2019

NO 59

NEWSLETTER OF SUMIRE-KAI



すみれ会副会長
株式会社オールファッショナート
研究所 代表取締役
松本 ルキ 氏



すみれ会名誉会長
文化服装学院 学院長
相原 幸子 氏



すみれ会会長
佐藤織維株式会社
代表取締役
佐藤 正樹 氏

役員紹介



スーパーバイダー
株式会社サンベックスイト
花里 裕 氏



すみれ会副会長
文化服装学院 副学院長
野中 慶子 氏



すみれ会副会長
元文化服装学院教授
元学院長補佐
工藤 勝江 氏



すみれ会副会長
株式会社LEWS纏(リューズテン)
代表取締役
堀畑 裕之 氏

20	18	17	16	15	14	12	06	04	02
佐藤纖維株式会社 佐藤正樹氏	すみれ会会長インタビュー								
佐藤纖維株式会社のご紹介	すみれサロン（卒業生紹介）								
すみれ会奨学金受給者インタビュー	すみれ会会員手手続き方法・寄付金募集について								
文化祭・同窓会パーティのお知らせ	文化祭園服飾博物館 展示のご案内								
「ウイーン・モダン展」	コラボレーションのご報告								
すみれ会会員手手続き方法・寄付金募集について	会員特典								
2018年度 すみれ会収支決算書	2018年度 すみれ会予算書								

Cover

2018年度 | 部文化祭ファッショショニ「@?」より

Art Direction & Design

Taku Nakai (QUEEL DESIGN)

文化服装学院同窓会すみれ会のWebサイト

卒業生インタビューをアップしていきます。懐かしい友達の情報もアップされるかもしれません。自分もぜひ出したいという方も大歓迎です。ほかにもコンテンツを追加したサイトになっていますので、ぜひご覧ください。「文化服装学院 すみれ会」で検索してください。

sumirekai.bunka-fc.ac.jp/



すみれ会会長インタビュー 佐藤繊維株式会社 佐藤正樹氏

—すみれ会会長に就任された佐藤正樹氏に、今のファッショング業界や教育、すみれ会会長としての抱負についてお話をいただきました。

日本のファッショング業界には転機が来ていると感じます。アパレルの経営者、デザイナー、製造に関わるすべての人たちとのつき合いから、ファッショングを考えなければいけない時代であることを確信しています。

明治時代に西洋からウールの文化を取り込んで、まずは軍人が、

そして一般の人々が洋服を着るようになりました。着物から洋服への転換期に文化服装学院のような洋裁学校が生まれ、女性が洋服づくりを

くりを学ぶ時代が訪れました。その後、女性の社会進出によつて家で洋裁をする時間が限られるようになり、洋服は店で売れるようになります。洋服はファッショングになり、ファッショングデザイナーの時代が到来しました。デザイナーがものづくりするための豊かな背景がある時代を経て、現在はそれが難しくなってきました。洋服の同質化や市場の成熟によって、洋服の価値が問われ始めています。

変わつてきているという前提のうえで、バランスのいいものづくりやマーケティングをするには、基本の勉強が不可欠です。若者が本当に興味を持つて洋服づくりを



ファッショニ業界に必要なのは、企業力ではなく人の力です。

シヨン業界に必要なのは、企業力ではなく人の力です。その会社におもしろい人間がいるかどうかで変化が生まれます。その人間を育てるのが教育です。文化服装学院の学生や卒業生へ向けて、新たな洋服の価値を創造するための支援を考えていきたいです。

学ぶこと、先輩である私たちがその環境づくりをすること、それが洋服のおもしろさを世に伝えていくことにつながります。地方の過疎化や技術の伝承が問題となつている今、学校で基本を学ぶことがとても大切です。服の構造を理解してパターン、立体裁断、デザイン画などの基本を身につけていれば、ものづくりの現場で高い意識

を持つて働いていけます。

学生にとつて文化服装学院は、志を持って行動に移した最初の一歩でしょう。でも明確な夢はわかつていなことが多いと思います。すみれ会では、世界でファッショングビジネスができる環境づくりをバツクアップして、彼らに明確な夢と目標を与えていきたいと思います。これから大きく変わるもの、ファッショニ業界に必要なのは、企業力ではなく人の力です。その人間を育てるのが教育です。文化服装学院の学生や卒業生へ向けて、新たな洋

佐藤織維株式会社のご紹介

佐
藤
織
維
と
佐
藤
正
樹

1932~

1932年山形県寒河江市にて、佐藤正樹の曾祖父が紡績会社「佐藤織維」を創業。創業時は手紡ぎの糸づくりを2代目が設備を整え工業化。3代目の佐藤正樹の父により、これまでの紡績業に加えニット製品の製造を始める。



佐藤正樹(4代目社長)は文化服装学院卒業後、数年のアパレル勤務を経て1992年に山形に戻る。1997年世界最大級の糸の展示会「ピッティ・フィラーティ」を訪れ、イタリア人技術者の糸づくりに魅せられる。ここから佐藤は独自の糸づくりに着手する。昔の機械を改良し試行錯誤を重ね、当初4種類しかなかった糸が多彩に広がった。2005年に社長に就任。翌年極細のモヘア糸「FUUGA」が完成。ヤギの毛1gから約52mの糸を紡いでいる。



1992~



2007~

2007年ピッティ・フィラーティの出展を果たす。
2009年米オバマ大統領の就任式で、ミシェル夫人がモヘア糸「FUUGA」のカーディガンを着用。

ニット製品のプロダクトにおいては、2001年、自社ブランド「M.&KYOKO」を立ち上げる。その後「FUGAFUGA」やその他自社ブランドの企画からプロダクトを精力的に推進。

現在、日本国内主要百貨店を中心に直営店舗を展開。海外ではパートナーシップにより多数店舗にて展開している。またOEM、ODMの研究開発、企画、製造をすべて国内で行っている。

2016年にはメンズニットブランド「991」をピッティ・ウォモで発表。これまでの平面的なニットとは一線を画す、人間の可動域を計算したパターンと高度な編立技術によるニットジャケットや、塩素を使わないオリジナルの技術で実現した、洗えるウール「RaYs」を発表。



2015~

2015年複合セレクトショップ「GEAギア」をオープン。
約70年前に譲り受け、移築した築100年の2棟の石蔵には、ヨーロッパのトップメゾンのファッショングから山形の伝統工芸まで、店内には衣・食・住の枠、そしてグローバルとローカルの垣根を飛び越えた多彩なアイテムがそろう。
翌年にはGEA内にレストラン「0053」をオープン。



SumireSalon

すみれサロン

すみれサロンとは、文化祭期間中に同窓会員の皆さんに利用いただけるサロンです。また、卒業生の活躍を紹介する場として、ブランドやショップを立ち上げられた卒業生や、アーティストとして活躍されている卒業生をパネルや作品展示にて紹介しています。ここでは、昨年度のすみれサロンで展示した卒業生の皆さまを、あらためて紹介いたします。

feat.

Ventriloquist

THURIUM

ROTARI PARKER

an/eddy

COTTLE

THE IVY TOKYO

itani

Coco&Ami

pole-pole

kaiki

Ventriloquist

ヴェントリロクイスト

ヴェントリロクイストは常に昔のものや時代背景を尊重し、現在のものに置き換えてデザインしている。昔の素材やその時代の色や柄、シルエットからテクニッカ、仕立てのすべて昔のものを参考に生産。そのためデザインは職人の手が加わったものが多く、1点1点に多くの時間と手間をかけたデザインが特徴。Ventriloquist=腹話術師。語らずとも作品から何か感じとってほしい。

根本貴史

服飾専攻科デザイン専攻卒業。伊・マランゴーニ学院卒業。ANTONIO BERARDIに師事。HIROKO KOSHINO INTERNATIONAL(株)、MAX MARA (Max&Co.) (伊)に勤務。Ventriloquistを設立。

伊藤里恵子

ニットデザイン科卒業。HIROKO KOSHINO INTERNATIONAL(株)勤務後、渡伊。フリーニットデザイナーを経て FILO LOGICO に入社。その後、Ventriloquistを設立。

Mail: contact@studio-ventriloquist.com

Tel: 03-3937-8030  @ventriloquist_designer



THURIUM

スリウム

THURIUMは、デザイナーの誕生花AnthuriumからAnを抜いた造語。Anthuriumは茎が太く、妖艶な曲線が特徴的な凜とした夏の花。前向きな服作りをしたい、着た人が心弾んで前を向いて芯のある人になってほしいという願いから、日本語できくと否定形の「un(アン)」に聞こえてしまうAnを抜いたTHURIUMというブランドで、輝く女性へと気持ちを込めた服作りをしている。

及川 絵美

アパレル技術科卒業。国立宮城高専情報デザイン学科を卒業後、文化服装学院へ。在学中にデザイナーアシスタントを経験し経営のノウハウを学び、卒業後は販売職に就く。自社ブランドを立ち上げたいという気持ちを温め、2016年SSより「THURIUM-スリウム」をスタートする。

HP: <http://thuriun.com> Mail: thuriun0729@gmail.com

Tel: 047-317-0068(担当:及川)

 @thuriun_official

ROTARI PARKER

ロタリパーカー

本物のお菓子や食品を、特殊な加工によってアクセサリーへと生まれ変わらせる、言わば“食べ物の標本”。視覚だけでなく味覚も楽しめる、新しいアクセサリーの提案。2016年、NHK紅白歌合戦PUFFYの衣装アクセサリー制作。2017年、2人展スナック麦、ROTARI PARKER selection 5種のドーナツアイスクリームを添えて展、カルビー ショップ ISETAN 限定アイテムの発売、2018年、PAMEO POSEとのコラボレーションアクセサリーを発売。

広田理恵

アパレルデザイン科、ファッション高度専門士科卒業。

2009年よりアクセサリー制作を始める。代表作は「eat me」。



ROTARI inc.

Mail: info@rotariparker.com

HP: www.rotariparker.com

an/eddy

アン エディ

蓮沼千紘

ニットデザイン科卒業。高校時代、文化服装学院への進学を決めたのと同時に思いついたブランド名 an eddy は“小さな渦”という意味。an/eddyとして高校時代から作品を販売していたが、ニットデザイン科進学を期にハンドニットブランドに。2018年学院を卒業。ペイクリーズで企画職を務めた後、an/eddyを本格始動。専門学校での非常勤講師などを経て、2017年より Macaoでの作品販売、ニューヨークでの合同展参加、香港でのポップアップなど海外に向けた発信にも力を入れる。唯一無二の作品はスタイリストからの支持も高く、雑誌、広告、映像、ミュージシャンの衣装などに起用される。作品の発表は蓮沼千紘自身が日々を生きるなかで収集される多種多様な情報が無意識で精製され“思いついた時”に制作、発表される。

© @knitchihiro



COTTLE

コトル

「自分たちが気にいる素晴らしい生地、ほれ込んだ素材を使ってものづくりをする」がモットー。びっくりするような、ハッとするような風合いや美しさを持つ品質のいい生地に出会い、この生地で毎日着られるような洋服を作りたい。使い捨てではなく愛着を持って長く着込んでいくことで美しさが増し、持ち主だけの一着になるように。日本特有の季節感や美意識、文化を取り入れ、「なんだかこれ着てしまふな」と思ってもらえる特別な定番品を作っている。

渡辺 稔晃

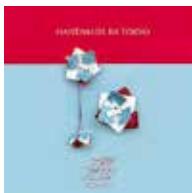
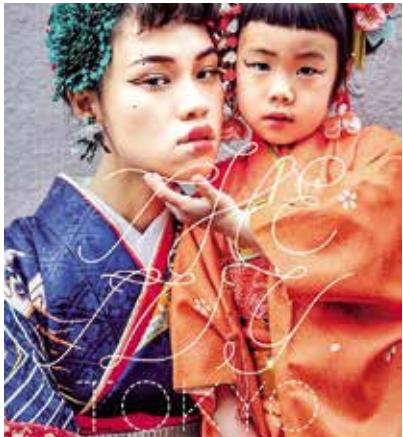
アパレルデザイン科卒業。2015年COTTLE創業。

2018年3月倉敷・児島にCOTTLE直営ギャラリーショップをオープン。かつて縫製工場だった築120年超の建物を改装して出店。隣接する工房で製作したオリジナルウェア、小物、ジュエリーなどを並べる。店舗面積は約45m²。

SHOP ACCESS: 〒711-0903 岡山県倉敷市児島田の口4-2-46

Tel/Fax: 086-441-3889 HP: <https://cottle.jp>

Mail: [@cottle.jp](mailto:info@cottle.jp)



THE IVY TOKYO

ザ・アイヴィー・トウキョウ

人と人との縁を大切にして手作りの温もりを伝えたい。TSUMIRE®の生み出す、花をモチーフにしたワイヤーアートアクセサリーは、オーダーメイドの一点物で、世界にたった一つの芸術品。繊細で透明感のある樹脂やドライフラワーが特徴で、台湾の女優やモデルたちに愛されてやまない、ファッショニスタ御用達のブランド。

TSUMIRE®

ファッション流通専攻科ファッションディレクター専攻卒業。学院長賞受賞。在学中にマドモアゼルユリアのアシスタントに起用され才能を発揮。2015年、長女IVYが誕生。愛娘の名前をブランド名として「THE IVY TOKYO」を立ち上げる。台湾、日本各地で展示会を開催。2017年には台湾の経済雑誌「天下雑誌」にて活躍が紹介される。

@theivytokyo(ブランド)、@tsumire1224(デザイナー)

Tsumire 日本に恋してる

itani

イタニ

itaniは「出会いのきっかけになるジュエリー」をコンセプトに人と人、人とのものが繋がることを思い、制作。シンプルな形の中にひねりのあるデザインで、人生にそっと寄り添うようなジュエリーを目指している。控えめなデザインに、精緻な細工が施されているのが特徴。



谷井 亨

ファッション工芸科ジュエリーアクセサリーコース卒業。
アクセサリーブランドの生産管理、原型制作、オーダーメイド
ジュエリーの制作を経て、2015年に独立。

HP: <http://www.itani-jewelry.com>

@itani.jewelry

@itani_official

取り扱い店舗: drama H.P.FRANCE
goldandbouncy 千駄木店



Coco & Ami

ココトアミ

「これ実はね」と誰かに伝えたくなる仕掛けや物語を持って生まれた帽子たち。絵本の中を歩くようなドキドキとワクワクを詰め込み、身につける本人だけでなく周りも巻き込み笑顔を運ぶ商品づくりを軸とする。ブランド最大の魅力である仕掛けの開発時は、時に道具作りもゼロから行い、先人の知恵や技術を大切にしながら、かつ、新しい切り口での技法を追求している。

植月 沙由理

工科基礎科を修了後、ファッションクラフトデザイン科に転科。卒業後アパレル会社や帽子のアトリエ勤務を経た後、Coco & Amiを本格始動。仕掛けのあるデザインや凝った仕様を得意とし、自身でパターンからサンプルまでを一貫して手がけるため、独創性のあるデザインもぶれずに開発できることが強み。

HP: <http://cocoxami.com> Mail: info@cocoxami.info

@cocoxami

@cocoxami0

pole-pole

ポール トウ ポール

“新しいデザインではなく大切なデザイン”。このコンセプトをもとにテキスタイルデザイナーたちによって結成されたデザイン会社。pole-poleとは「点と点をつなげること」。経糸と緯糸が連なり、織りあがっていく布地のように、何かと何かが結びつく中で生まれるコトやモノ、ヒトを大切にデザインしている。アトリエ、事務所、ショップ、ギャラリーとなるスペース「pole-pole LAB」を運営している。

廣瀬勇士

テキスタイルデザイン科卒業

pole-pole 共同代表：シミズダニヤスノブ、近藤正嗣

<< award >>

Mittelmoda The Fashion Award 15th

Missoni Prize 共同受賞 / ITALY

「pole-pole LAB」東京都調布市西つつじヶ丘 4-23-35-106
金・土・日 13:00-18:00 (詳細はHP、インスタグラムをご確認ください)

HP: from-pole-pole.com  @poletopole2017**kaiki**

カイキ

リラックスの中に適度な緊張感をミックス



飯尾開毅

学習院大学、文化服装学院II部服装科卒業後、
アパレルメーカーを経て、kaikiを設立。

2016SSからスタート

HP: <https://www.kaikiinfo.com/>  @kaikiinfo

すみれ会奨学金受給者インタビュー

すみれ会奨学金について

すみれ会は平成28年度より、優秀な在校生を対象にした奨学金制度を施行しております。奨学金の資金の一部には、すみれ会への寄付金を使わせていただき、将来ファッショング業界で活躍し、すみれ会会員としても積極的に活動する人材を支援してまいります。今年も入学式の後に、すみれ会奨学金受給式が執り行われました。受給式後の学生達へのインタビューを掲載いたします。

奨学金受給者のみなさん、おめでとうございます。

受給者に選ばれた今のお気持ちをきかせてください。

との思いで皆勤しました。昨年は2か月間の海外インターイングを経験しました。こうしたチャレンジが結果につながったのだと思います。

ー学生 E

授業を全部受けたので、休まないよう努めました。必須課題の作品以外にも応用作品を作つて頑張りました。

ー学生 A
学校の課題は大変でしたが、やるしかないという思いで努力してきたことや、体調の悪い日も這つても学校へ行くという気持ちで皆勤したことに対する結果がついてきたと思っています。

ー学生 B

学校生活では、特にコンテストを頑張りました。挑戦し続けると次につながると感じています。

ー学生 C

皆勤したことが、認めていただけた大きな理由だと思います。今は、サポートしていく両親とお世話になつた先生方に感謝しています。

ー学生 D

私も両親のおかげで学校に通うことができたので、その気持ちを無駄にしないように仕事がしたいです。

卒業後の目標についてきかせてください。

ー学生 A

企業デザイナーとして就職してから、ノウハウを学んで、ブランドを立ち上げたいです。

ー学生 B

子供服のブランドの企業デザイナーになって、ゆくゆくは自分のブランドを持ちたいと思ってます。

ー学生 C

服だけに限らず、ファッショングをライフスタイルとしてとらえて、人生を豊かにする仕事をしたいです。



2019年度すみれ会奨学金は、I部学生4名、
II部学生1名の合計5名の方に支給されます。

I 学生 D

販売職を極めた後で、プレスとして働き、海外に発信できるような立場の仕事をしたいです。

I 学生 E

服が好きなのにサイズがないことで自分自身が苦労してきました。小柄な人のための服を作りたくて入学したので、卒業後は起業を考えています。この奨学金もその資金の一部に充てたいです。

ファッション高度専門士科4年

東 真妃さん

東山 恵さん

グローバルビジネスデザイン科4年

増尾 葉さん

山本 与加さん

II部服装科3年

横山 美沙さん

文化学園服飾博物館 2019年度 展示のご案内



ユネスコの世界無形文化遺産として認定されている「能楽」と「歌舞伎」、その舞台衣裳には、共に優れた意匠や染織技術が認められます。能楽は、室町時代初めに、観阿弥・世阿弥親子により始められ、江戸時代に武家の式楽(儀式に用いる楽)とされ、今日に伝えられています。歌舞伎は、江戸幕府の開設と時期を同じくして誕生し、庶民の支持を受けながら今日まで引き継がれ、人々に親しまれています。

本展では、当館の所蔵する彦根藩主・井伊家旧蔵の江戸後期から明治時代の能装束と、松竹衣裳株式会社の所蔵する現代の歌舞伎衣裳を紹介し、日本を代表する芸能である両者の衣装の特色や共通性などに迫ります。

10月7日(月)
～
11月29日(金)

能装束と歌舞伎衣裳

※10月11日(金)、11月15日(金)は19:00まで開館　※11月3日(日・祝)、4日(月・休)は開館 11月6日(水)、7日(木)、8日(金)は休館



12月20日(金)
2020年
2月14日(金)

ひだ 一機能性とエレガンスー

衣服のひだには、プリーツ、ギヤザー、シャーリング、タック、ドレープ、フリルなど、多くの表現があります。これらのひだには、布を体のラインにフィットさせるため、動きやすくするため、気候風土に適応するため、といった機能性の追求の他、装飾性を与えたり、布の流れを強調して体のラインを美しく見せる、といったフォルムの追求のために用いることもあります。本展では、世界各地の民族衣装やヨーロッパのドレスなど、ひだが作り出しています。

※1月24日(金)、2月7日(金)は19:00まで開館　※年末年始休館:12月27日(金)～1月5日(日)

開館時間:10:00～16:30 (入館は閉館の30分前)

*各展示期間中2回、金曜日に開館時間を延長(19時まで / 入館は18時半まで)

休館日:日曜・祝日・振替休日・年末年始・夏期休暇・展示替えの期間

〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル1階 TEL: 03-3299-2387

コラボレーションのご報告

国立新美術館で開催中の「ウィーン・モダン クリムト、シーレ世紀末への道」において、服飾専攻科オートクチュール専攻とファッション高度専門士科3年の学生(いずれも2018年度在学時点)が制作したドレス2作品が展示されています。



服飾専攻科オートクチュール専攻学生制作 ■コンセプト■

グスタフ・クリムト《エミーリエ・フレーゲの肖像》(1902年)の絵画より想像を膨らませ、ドレスと帽子を制作しました。布地には、スクリーンプリントや箔プリントを施し、さらにコード刺繡とスワロフスキー®・クリスタルで装飾を加えました。身頃の模様はシェルボタンをイメージしアンティーク感を表現しています。

ファッション高度専門士科学生制作

■コンセプト■

クリムトが生涯愛した女性、エミーリエのためにデザインしたとされるドレスからインスピレーションを受けました。彼女のドレスに多く見られる裾広がりで袖にボリュームがあるデザインを制作するドレスに落とし込みました。また、クリムトの絵画にみられる装飾的で幾何学的な要素をディテールに取り入れています。

東京展

会期

2019年4月24日(水)

～

8月5日(月)

会場

国立新美術館
企画展示室Ⅰ E
(東京・六本木)

<http://www.nact.jp>

大阪展

会期

2019年8月27日(火)

～

12月8日(日)

会場

国立国際美術館
(大阪・中之島)

<http://www.nmao.go.jp/>
(学生作品は展示されません)





2019 年度 文化祭のお知らせ

BUNKA FASHION
COLLAGE
文化祭

BUNKA-SAI 2019

11.3-4-5



2018 年度文化祭

本年度の文化服装学院・文化祭は、11月3日（日・祝）、4日（月・休）、5日（火）の3日間に開催されます。

皆さまのご来校をお待ちしております。



2018 年度 文化服装学院
同窓会パーティ (すみれ会) のお知らせ

SUMIRE KAI
PARTY

SUMIRE-KAI PARTY



2018 年度同窓会パーティ

文化服装学院・文化祭期間中に同窓会パーティを開催いたします。お食事もご用意しておりますので、すみれ会会員の皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

※11月3日(日・祝)の昼を予定しております。

詳細は、すみれ会ホームページ、およびDMにてお知らせします。

会員手続き方法

WebまたはFAX、郵送でのお手続き

文化服装学院のホームページより各種手続きのお申込みを受け付けています。インターネット環境がない場合は、郵送またはFAXでの受付も可能です。

ご来校いただきでの手続き

文化服装学院 窓口(B館ロビー階)にて、受け付けいたします。ただし、会員証の発行にはお時間がかかりますので、後日郵送でのお渡しとなります。

すみれ会 Web会員登録について

Web会員へは無料でご登録いただけます。Web会員の皆さんへは、Web版すみれ会報のアップのお知らせや、同窓会、文化祭などの情報をお届けいたします。現在会員の皆さんも、ぜひご登録ください(文化服装学院すみれ会ホームページより、お申込みいただけます)。

寄附のお願い

文化服装学院 すみれ会奨学金

すみれ会では、平成28年度より実施している奨学金制度に伴い、寄付金の募集活動を行っています。皆さまからお寄せいただいたご厚志は、優秀な在校生への奨学金として活用させていただいています。

(2019年度の授与については、12ページに記載しています)。何とぞこの趣旨をご賛同いただき、多くの皆さまから温かいご支援を賜りたく、お願い申し上げます。なお、奨学金は入学式の席上において、すみれ会会长から授与されます。

寄付金募集要項

寄付金の使途:学業優秀で今後の活躍が期待される在校生へ、授業料の一部を給付

寄付金対象者:すみれ会員、法人・企業

寄付金の額:1口1000円より3口以上。なお、金額の多寡にかかわらずありがとうございます。なお、控除対象外になります。

募集期間:募集期間は定めておりません。継続的に募集活動を行ってまいります。

申し込み方法:郵便(銀行)振替にてお振込みください。

振込先:ゆうちょ銀行振替口座

口座記号番号: 00150-7-766997

口座名称(漢字): すみれ会寄付金口

口座名称(カナ): スミレカイキフキンチ

※ゆうちょ銀行以外より振り込まれる場合は下記となります。

ゆうちょ銀行 019(ゼロイチキュウ)支店

当座預金 口座番号: 0766997

個人情報取り扱い:ご寄付いただいた方の氏名、住所等の個人情報はすみれ会が行う寄付金募集業務以外には利用いたしません。

文化祭すみれ市

すみれ会では文化祭すみれ市を行っています。企業でご不要となりました布地がございましたら寄付をお願いします。収益金は在校生の奨学金制度に役立てていきます。

文化学園古本募金

不要になった書籍・CD・DVDをご提供いただくと、その売却代金が寄付となり、文化学園の教育・研究の充実に役立てられます。ぜひご協力をお願いいたします。詳細は専用ホームページをご覧ください。



<https://www.furuhon-bokin.jp/bunka/>

特典③ 文化学園施設利用料の優待

文化購買事業部

GAKUEN SHOP / 表生
地・手芸用品コーナー

GAKUEN SHOP、つよ
せ、服地屋Dilla、孝富、
四季の商品がすみれ会
員証提示にて10%

OFFになります。[割引対象外商品もあります]



BUNKA ファッションオープンカレッジ

BUNKA ファッションオープンカレッジの入会
金が半額になります。講習会等の割引制度もあ
りますので、お申し込みの際にご確認ください。

問 文化服装学院 生涯学習センター

☎03-3299-2233

特典④ 文化出版局

年間購読の特別割引

『ミセス』『装苑』

『ミセスのスタイルブック』10%オフ

下記HPまたはお電話よりお申込みください。

富士山マガジンサービス

URL:<https://www.fujisan.co.jp/campaign/bunka/>

フリーダイヤル:0120 223 223

クーポンコード:sumire2019

※クーポンコードが無いと特別割引は適用されません

特典⑤ 協力企業によるサービスが 受けられます

新宿ワシントンホテル 宿泊特別料金

宿泊料金など割引プランをご用意しています。
専用ダイヤルにてお問い合わせください。

☎03-3344-6480

新宿ワシントンホテル

〒160-8336 東京都新宿区西新宿3-2-9

ホテルグレイスリー新宿

〒160-8466 東京都新宿区歌舞伎町1-19-1

すみれ会会員特典

すみれ会では、会員特典を
ご用意しております。ご利用
に当たっては、必ず「す
みれ会会員証」をご提示く
ださい。特典手続きなど、
詳細はすみれ会ホームページ
、またはすみれ会事務局
までお問い合わせください。

特典① すみれ会報の発送

同窓会誌「すみれ会報」を、会員の皆さんに年1
回お送りしています。

特典② 文化学園施設利用

すみれ会会員証提示で学園施設をご利用いただ
けます。

文化学園図書館

<http://lib.bunka.ac.jp/>

図書館HPにて、「図書館用カレンダー(卒業生
用)」をご参照ください。

文化学園服飾博物館

<http://museum.bunka.ac.jp/>

すみれ会会員証の提示で無料にてご鑑賞いただ
けます。展示期間や開館時間は博物館のHPに
てご確認ください。

文化学園ファッションリソースセンター

<http://www.bunka.ac.jp/frc/>

テキスタイル資料室・映
像資料室がご利用いた
だけます。詳細はHPに
てご確認ください。



日本旅行

国内／赤い風船

海外／マッハ、ベスト 5%割引！

日本旅行の全国店頭支店にて対応いたします。
(Web・電話でのお申込みは対象外)

※他社企画、Webコレクション等の上記ブランド以外は対象外です。

※日本旅行OMCトラベルは除外となります。

※本人とそのご家族が対象です。

※その他の各種割引との重複利用はできません。

※窓口にてすみれ会員証をご提示ください。

くんかれ

「くんかれ」では独自に開発した製法によりカレールーを燻製しています(製法特許取得済み)。カレー本来が持つ独特のスパイシーさに加え、燻製することで生み出される風味豊かな香りが複雑に絡み合う、今までにない斬新な味を提供いたします。

すみれ会員特典：

燻製全部のせカレー 980円→500円(期間限定)
ビール(小)1杯サービス (期間限定)

東京都港区赤坂4-1-4 堀江ビル1F

☎03-6230-9566

月～金 11:00～15:00 / 17:00～23:30

土 11:00～20:00

定休日 日・祝日

アクセス：東京メトロ銀座線・丸ノ内線赤坂見附駅[A]出口より徒歩3分

千代田線赤坂駅1番出口より徒歩5分

募集

すみれ会では、会員特典にご協力いただける企業を募集しています。会員証の提示で割引が可能になる、特典をつけてくださる……など、卒業生の皆さまのご好意をお待ちしています。ご検討のほどよろしくお願いいたします。

✉すみれ会事務局 ☎03-3299-2073

chez mikawa(シェ ミカワ)

赤坂の本格ベルギー料理レストラン。

本場のベルギー王国ビールとお食事をお楽しみいただけます。

すみれ会員特典：

お食事3,000円以上で樽生ヒューガルデン
ホワイトビール(小)1杯サービス

東京都港区赤坂3-13-4 赤坂三河家ビル2F

☎03-3583-5212

月～金 11:30～14:00 / 17:30～23:00

土 17:00～

定休日：日・祝日

アクセス：東京メトロ千代田線赤坂駅2番出口より徒歩2分

A/B Anniversary Blanket

(アニバーサリー ブランケット)

安心のオーガニックコットン100%を使用した、お名前や生年月日、メッセージが入れられるブランケット。世界に一つの特別なブランケットと共に思い出がたくさん生まれますように。出産のお祝いやギフトに…。

すみれ会員特典：

10%OFF クーポンコードをプレゼントいたします。

HP: ab-by-anniversary-blanket



Bun Café

紫苑学生会館の1階、テラスのある開放的なカフェ。

すみれ会員特典：飲食代10%OFF

☎03-5354-7515

2018年度 すみれ会収支決算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

《収入の部》

(単位:円)

科目	金額	摘要		
会費収入	12,599,000	H29(2017)年度卒業生分(1328名分)		12,315,000
		卒業生継続会費(永久会員)	5,000×52	260,000
		会員証再発行費	1,000×24	24,000
事業収入	798,200	パーティ会費(11月3日開催)	3,000×133	399,000
		すみれ市バザー売上金(11月3・4日実施)		399,200
雑収入	2,692	受取利息		2,692
寄付金収入	12,000			12,000
総合計	13,411,892			

《支出の部》

(単位:円)

科目	金額	摘要	
会員証発行費	416,880	2018年度、2019年度会員カード製作代、印字代ほか	416,880
会報発行費	1,780,966	すみれ会報デザイン費、発送準備費など	1,780,966
事業支出費	3,016,373	パーティ諸経費【会場設営、飲食代、会場装花代、DM制作料など】	2,558,145
		文化祭諸経費【すみれ市・すみれサロン、招待状など】	458,228
事務運営費	75,159	賃借料【サーバーレンタル料】	17,640
		消耗品	16,862
		送料	8,991
		手数料【振込手数料】	324
		通信費【電話、ひかり、スマートフォン】	31,342
会議費	111,983	交通費	95,000
		飲料代	16,983
慶弔費	11,340	慶弔、花代	11,340
奨学金	1,550,000	H30年度 I部@350,000×4、II部@150,000×1	1,550,000
会費返金	235,000	10,000円×23 5,000円×1	235,000
雑費	1,080	残高証明書発行手数料	1,080
支出計	7,198,781		
差引余剰金	6,213,111		
総合計	13,411,892		
前期迄繰越余剰金	78,345,999		
当期余剰金	6,213,111		
次期繰越金	84,559,110		

2019年度 すみれ会予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

《収入の部》

(単位:円)

科目	金額	摘要
会費収入	12,105,000	2018年度卒業生 1211名
	200,000	既卒業生会費、会員証再発行費
事業収入	390,000	総会・パーティ会費 3,000円×130名
	300,000	すみれ市収益
合計	12,995,000	

《支出の部》

(単位:円)

科目	金額	摘要
会員証発行費	500,000	2019年度 会員カード製作代、印字代ほか
会報発行費	2,500,000	すみれ会報59号製作費(1万部)、同封チラシ、発送用封筒代ほか
		すみれ会報取材・撮影費ほか
		すみれ会報発送準備・発送代
事業支出費	5,500,000	文化祭・パーティのお知らせ製作・発送準備・送料
		パーティ諸経費【会場設営、飲食代ほか】
		運営費【ホームページ制作費ほか】
		文化祭諸経費【すみれ市・同窓会サロンなど】
事務運営費	500,000	消耗品
		郵便代
		電話代等
会議費	200,000	会議【役員会議等】
出張交通費	100,000	打ち合わせなど
慶弔費	200,000	慶弔金、花代
雑費	5,000	残高証明書発行手数料ほか
奨学金	1,550,000	2019年度すみれ会奨学金給付分(I部4名、II部1名)
予備費	1,940,000	会費返金ほか
総合計	12,995,000	

SUMIRE KA | 2019 | NO 59

第59号(2019年夏号) 2019年7月15日発行 発行人=佐藤正樹 編集者=すみれ会広報活動専門委員会
発行所=文化服装学院すみれ会 〒151-8522 東京都渋谷区代々木3-22-1 Tel03-3299-2073



文化服装学院同窓会パーティは
11月3日(日・祝)文化の日開催!

